



優秀賞

横島漁業協同組合

水産基盤等
分野漁協自らによりPB係留施設の整備・運営をし、
漁港の水域施設の機能を支える取組

取組概要

- ・プレジャーボート（PB）の無秩序な水域の占用に対し、係留施設を整備することにより、港内の安全な利用を確保する。
- ・所有者不明のPBが沈没し、油流出による水質汚濁等に対し、マリーナ運営することにより、適正な保管と水域利用の周知により、水域施設的环境を保全する。



PB係留施設整備前(港内)



PB係留施設整備後(港内)

受賞理由

占用許可を受けた漁協自らがPB係留施設の整備・運営を実施し放置艇対策を行い、放置等禁止区域内のPBは170隻から27隻と減少し、船同士の接触事故や沈没はなくなり安全性が高まった。さらに、漁船の航行が円滑となり水産物の陸揚げ作業も効率よく行えるようになったことから漁協の安全性向上への努力が評価された。

取組のポイント

- ・漁港施設へ無秩序に係留していたPBの適正収容により、効率的な維持管理が実現。
- ・マリーナ運営が新たな漁協の収益源となっており、漁協経営の安定化並びに、担い手育成に繋がる。

受賞者について



受賞者

横島漁業協同組合
代表理事組合長 渡邊 冬彦
理事兼参事 岡崎 宏司
理事 渡壁 正勝

コメント

組合員をはじめ地域住民全てが、ウインウインの関係になることを目標に、当プレジャーボート施設を整備しました。その結果、組合収益向上により施設整備を行うことで魚価経営の安定、島内への交流人口の増加により、地域のガソリンスタンドや飲食店等の売上げが向上しました。この度は、賞を頂き、ありがとうございました。

団体概要

当組合は福山市の南、市中心部から車で約40分に位置する島にあります。組合員数は約100名で、主な漁業は底びき網漁業です。戦前は、東南アジアまで行き、漁業を営むなど、漁業の腕は、世界一とも言われています。

問い合わせ先

横島漁業協同組合
理事兼参事 岡崎 宏司
084-986-2008 / 090-9063-5276
jf-yokoshima@citrus.ocn.ne.jp